

## VI. 2024 年度活動計画(案)

特にこの地域で考えられる 風、火災、地震という災害に対して強い地域になるよう活動する。防災意識の高揚、そのための技術や知識の普及に努める。3つの部会がそのための事業を協力して実施する。

### 1. 自主防災組織全体

- ① 9月と3月に防災の日と防災週間を設定し、各家庭で家具類の安全、備蓄水・備蓄食料の確認を行う。
- ② 中央公園の災害用井戸の維持管理を実施する。
- ③ 5年間長期保存が可能な食料品の備蓄を行う。(1軒あたり2人で15軒が倒壊するとして30人分を1日3食で3日分、計270食を5年かけて備蓄する)
- ④ 防災役員会を2ヶ月に1回開催し、防災会議を年2回開催する。
- ⑤ 訓練・講習会への一般参加者を増やす。

### 2. ひなん支援部会

- ① 災害時ひなん支援希望者調査を実施(5月)し、災害時に備える。
  - ・支援希望者リストを更新し、必要に応じてサポーターを決める。
  - ・安否確認で使用する名簿と地図を作成し、保管する。
  - ・支援希望者宅の訪問を年3回実施する。
- ② 減災の為に講習会を開催する(6月予定)。今年度は「衣類」をテーマにする。
- ③ 防災訓練で安否確認を担当する。

### 3. 情報部会

- ① 防災だより、掲示板、防災メール、ホームページ、場合によっては広報車を活用して、各種情報を全住民に伝える。
- ② 防災メール
  - ・防災メールの登録者数の拡大を目指す。異常気象、周辺での災害発生状況、県警の防犯情報なども発信する。
  - ・LINEの活用を考える。
- ③ ホームページ
  - ・自主防のホームページに自治会のコンテンツを入れる。
  - ・ホームページの運営方法について自治会本部・広報部と検討を行う。
- ④ 防災について考える会
  - ・防災に役立つテーマを選定し、楽しみながら学んだり考えたりする会として開催する。

### 4. 訓練部会

- ① 防災訓練の実施
  - ・災害対策用資機材を点検し、取り扱いの説明と使用体験を実施する。
  - ・放水、救出救護、給水、避難所運営などの中からいずれかの訓練を実施する。
- ② 保安部と消防訓練を協同開催する。
  - ・ホース5本以上接続の放水訓練を検討する。
  - ・ホース金具の点検・整備実施を検討する。
- ③ 救急救命講習会の開催
  - ・専門部と助成金団体に声をかけ、救急救命講習会を協同で開催する方法を検討する。参加し易い簡素化した講習を考える。